

	災害拠点病院としての機能【災害拠点病院】	災害急性期の応援派遣	災害中長期の応援派遣
ストラクチャー (病院や医療従事者の充実度)	<ul style="list-style-type: none"> ●病院の耐震化率(耐震化された病院数/全病院数) (H26.4.1現在) H24: 72/133 (54%) →H25: 81/131 (62%) ●災害対応マニュアルを策定している病院の割合 (H25.6現在) H24: 93.73% (98/134) →H25: 89% (118/133) ●広域災害・救急医療情報システム(EMIS)へ登録している病院の割合 (H26.4現在) H24: 64% →H25: 63% (83/131) ■災害時の通信手段として衛星携帯電話を整備している病院の割合 (H26.4.1現在) H24: 22.6% (35/134) →H25: 48% (63/131) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての施設が耐震化された災害拠点病院の割合 (H26.6 高知県調べ) H24: 100% (8/8) →H25: 100% (10/10) ※見込み含む ●災害拠点病院のうち、災害に備えて医療資器材の備蓄を行っている病院の割合 (H26.6 高知県調べ) H24: 75.100% (8/8) →H25: 90% (9/10) ●災害拠点病院のうち、受水槽の保有や、井戸設備の整備を行っている病院の割合 (H26.6 高知県調べ) H24: 100% (8/8) →H25: 100% (10/10) ●災害拠点病院のうち、食料や飲料水、医薬品等を3日分程度備蓄している病院の割合 (H26.6 高知県調べ) H24: 100% (8/8) →H25: 100% (10/10) ●災害拠点病院のうち、食料や飲料水、医薬品等の物資の供給について、関係団体と協定を結び優先的に供給される体制を整えている病院の割合 (H26.6 高知県調べ) H24: 25% (2/8) →H25: 50% (5/10) ●災害拠点病院のうち、病院敷地内にヘリポートを有している病院の割合 (H26.6 高知県調べ) H24: 37.5% (3/8) →H25: 40% (4/10) 	<ul style="list-style-type: none"> ●DMAT等緊急医療チームの数及びチームを構成する医療従事者の数 H25.2: DMAT 26チーム (12病院) DMAT隊員 134人 H26.3: DMAT 29チーム (14病院) 	
プロセス (医療や看護の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ●災害対応マニュアルを定期的に見直している病院の割合 (H24.8 高知県調べ) H24: 72% ●災害時の搬送先を確保している病院の割合 (H25.6現在) H24: 21.8% (24/134) →H25: 21% (28/133) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●災害拠点病院のうち、傷病者が多数発生した場合を想定した災害実働訓練を実施した病院の割合 H24: 100% →H25: 100% ●基幹災害拠点病院が、地域災害拠点病院の職員に対して実施した災害医療研修(実施回数、人数等) H24: 3回、27人 →H25: 3回、31人 ●基幹災害拠点病院における県下の災害関係医療従事者を対象とした研修の実施回数 H24: 3回 →H25: 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時の医療チーム等の受入を想定し、都道府県が派遣調整本部のコーディネート機能の確認を行う災害実働訓練実施回数 H24: 1回 →H25: 1回 ●災害時の医療チーム等の受入を想定し、保健所管轄区域や市町村単位等で地域災害医療対策会議のコーディネート機能の確認を行う災害実働訓練実施箇所数及び回数 H24: 1か所、1回 →H25: 1か所、1回 	